

竜丘村

第二号

発行人 木下 右治
編集人 龍 共 社
印刷所 龍 共 社
発行所 竜丘村公民館

昭和二十四年度 村予算について

今年の村予算は三月の議会で決つたがその概要は次の通りである(単位円)

一、収入の部	四、七三三、〇六九
内、村税	三、六三三、四一〇
内、縣附加税	一、一〇〇、〇〇〇
内、獨立法(内住民税)	八七五、〇〇〇
内、配布税	一、八二〇、〇〇〇
二、財産収入	二、二二二、〇〇〇
三、使用料及手数料	一、四二二、〇〇〇
四、國庫支出金	一、八五三、五二〇
五、縣支出金	一、一七四、四一五
六、寄附金	一〇〇、〇〇〇
七、繰入金	一〇〇、〇〇〇
八、雑収入	一〇〇、〇〇〇
九、議会の部	四、七三三、〇六九
一〇、役場費	一、六二二、〇〇〇
一一、消防費	九〇、〇〇〇
一二、土木費	五五、〇〇〇
一三、教育費	一、三三三、〇〇〇
一四、小學校	五五九、四四一
一五、中學校	四四〇、〇〇〇
一六、高等學校	三三三、〇〇〇
一七、圖書館	三三三、〇〇〇
一八、社會教育	一三三、〇〇〇
一九、社會及労働施設	七、八七五、〇〇〇
二〇、保健衛生費	七、四四一、〇〇〇
二一、産業經濟費	五、四一四、〇〇〇
二二、財産費	三、七二九、〇〇〇
二三、統計調査費	三、三三三、〇〇〇
二四、選挙費	三、三三三、〇〇〇
二五、公債費	二、三三三、〇〇〇
二六、諸支出金	一、一七〇、〇〇〇
二七、予備費	六、三三三、〇〇〇
二八、収入面	四、七三三、〇六九
二九、直接税	三、三三三、〇〇〇
三〇、配布税	一、一〇〇、〇〇〇
三一、國庫支出金	一、八五三、五二〇
三二、縣支出金	一、一七四、四一五
三三、繰入金	一〇〇、〇〇〇
三四、雑収入	一〇〇、〇〇〇
三五、支出面	四、七三三、〇六九
三六、役場	一、六二二、〇〇〇
三七、消防	九〇、〇〇〇
三八、土木	五五、〇〇〇
三九、教育	一、三三三、〇〇〇
四〇、小學校	五五九、四四一
四一、中學校	四四〇、〇〇〇
四二、高等學校	三三三、〇〇〇
四三、圖書館	三三三、〇〇〇
四四、社會教育	一三三、〇〇〇
四五、社會及労働施設	七、八七五、〇〇〇
四六、保健衛生	七、四四一、〇〇〇
四七、産業經濟	五、四一四、〇〇〇
四八、財産	三、七二九、〇〇〇
四九、統計調査	三、三三三、〇〇〇
五〇、選挙	三、三三三、〇〇〇
五一、公債	二、三三三、〇〇〇
五二、諸支出	一、一七〇、〇〇〇
五三、予備	六、三三三、〇〇〇

◎収入の部

一、保險徴収金	三、五二二、五六六
二、國庫支出金	一、八五三、五二〇
三、縣支出金	一、一七四、四一五
四、繰入金	一〇〇、〇〇〇
五、雑収入	一〇〇、〇〇〇
六、議会の部	四、七三三、〇六九
七、役場費	一、六二二、〇〇〇
八、消防費	九〇、〇〇〇
九、土木費	五五、〇〇〇
一〇、教育費	一、三三三、〇〇〇
一一、小學校	五五九、四四一
一二、中學校	四四〇、〇〇〇
一三、高等學校	三三三、〇〇〇
一四、圖書館	三三三、〇〇〇
一五、社會教育	一三三、〇〇〇
一六、社會及労働施設	七、八七五、〇〇〇
一七、保健衛生費	七、四四一、〇〇〇
一八、産業經濟費	五、四一四、〇〇〇
一九、財産費	三、七二九、〇〇〇
二〇、統計調査費	三、三三三、〇〇〇
二一、選挙費	三、三三三、〇〇〇
二二、公債費	二、三三三、〇〇〇
二三、諸支出金	一、一七〇、〇〇〇
二四、予備費	六、三三三、〇〇〇

◎収入面

一、収入面は毎月保険料は昭和二十三年度村民税等徴収に基き第一級三〇〇〇円、第二級二五〇〇円、三級二〇〇〇円、四級一八〇〇円、五級一六〇〇円、六級一四〇〇円、七級一三〇〇円、八級一二〇〇円、九級一〇〇〇円であり、別に人頭税は一八〇〇円、二〇〇〇円を二〇〇〇円宛六回に納めらる。

二、支出面は役場費は半額補助であり、又出産一回につき三〇〇〇円を補助し保健婦は常時無料でサービスに巡る。

三、合せて約八五〇万円のこの村の大半が徴収収入であるに鑑みて當事者としては予算の執行に力りその合理化に努めますが村民各位も必ず手ぬぐい準備の慮をされることを望みます。

竜丘公民館(昭和二十四年度) 事業計画及豫算

一、予算總額	二、二五〇、〇〇〇
二、事業費	一、八〇〇、〇〇〇
三、事業補助費	一、一〇〇、〇〇〇
四、職員手当	一、一〇〇、〇〇〇
五、職員旅費	一、〇〇〇、〇〇〇
六、職員食費	一、〇〇〇、〇〇〇
七、職員雑費	一、〇〇〇、〇〇〇
八、職員退職金	一、〇〇〇、〇〇〇
九、職員福利費	一、〇〇〇、〇〇〇
一〇、職員健康費	一、〇〇〇、〇〇〇
一一、職員教育費	一、〇〇〇、〇〇〇
一二、職員研修費	一、〇〇〇、〇〇〇
一三、職員慰勞費	一、〇〇〇、〇〇〇
一四、職員表彰費	一、〇〇〇、〇〇〇
一五、職員退職慰勞費	一、〇〇〇、〇〇〇
一六、職員福利施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
一七、職員健康施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
一八、職員教育施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
一九、職員研修施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
二〇、職員慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
二一、職員表彰施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
二二、職員退職慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
二三、職員福利施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
二四、職員健康施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
二五、職員教育施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
二六、職員研修施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
二七、職員慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
二八、職員表彰施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
二九、職員退職慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
三〇、職員福利施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
三一、職員健康施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
三二、職員教育施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
三三、職員研修施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
三四、職員慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
三五、職員表彰施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
三六、職員退職慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
三七、職員福利施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
三八、職員健康施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
三九、職員教育施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
四〇、職員研修施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
四一、職員慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
四二、職員表彰施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
四三、職員退職慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
四四、職員福利施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
四五、職員健康施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
四六、職員教育施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
四七、職員研修施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
四八、職員慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
四九、職員表彰施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
五〇、職員退職慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
五一、職員福利施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
五二、職員健康施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
五三、職員教育施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
五四、職員研修施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
五五、職員慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
五六、職員表彰施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
五七、職員退職慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
五八、職員福利施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
五九、職員健康施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
六〇、職員教育施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
六一、職員研修施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
六二、職員慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
六三、職員表彰施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
六四、職員退職慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
六五、職員福利施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
六六、職員健康施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
六七、職員教育施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
六八、職員研修施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
六九、職員慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
七〇、職員表彰施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
七一、職員退職慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
七二、職員福利施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
七三、職員健康施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
七四、職員教育施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
七五、職員研修施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
七六、職員慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
七七、職員表彰施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
七八、職員退職慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
七九、職員福利施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
八〇、職員健康施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
八一、職員教育施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
八二、職員研修施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
八三、職員慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
八四、職員表彰施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
八五、職員退職慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
八六、職員福利施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
八七、職員健康施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
八八、職員教育施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
八九、職員研修施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
九〇、職員慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
九一、職員表彰施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
九二、職員退職慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
九三、職員福利施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
九四、職員健康施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
九五、職員教育施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
九六、職員研修施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
九七、職員慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
九八、職員表彰施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
九九、職員退職慰勞施設費	一、〇〇〇、〇〇〇
一〇〇、職員福利施設費	一、〇〇〇、〇〇〇

青年教育部

高等學校にて勉學の出来ない在村勤勞女子青年を教育する機關であつて昨年迄は男子も勉學を教して居りましたが、勉學の希望者が皆無の狀態となりましたので今年女子のみを教えました。

職員 主任職員一名
常任職員一名
生徒中學卒業後二年間の該管者

職員 予算 六五、二六〇
内、職員給料 四九、二六〇
講師 六、〇〇〇
消耗品費 一、〇〇〇

教養部

今期教養部に於て新しく左の二講座が開かれます。村民の皆さん! 一人でも多く入講して下さい。

球算講座
毎週本曜日(通年)
四月二十一日午後八時半
講師 飯田實業高等學校 星 先生

政治經濟講座
火曜日(六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百)

村の文化を高めよ!

言ふ迄もなく農村の文化は極めて低い、こうした現状も今時始まつた事でもなく、私達農民自体の責任でも無い、思ふでは何にが故に農村の文化はこうした現状にあるのでせうか、それは日本の支配體制が農村の文化の高まるを必要としたからである。

要するに百性には學問は要らない、馬鹿でも出来れば、牛馬の様に働けばよい、この觀念が支配階級の潜在意識であり、農民自体もそうされて来たつた。少し學問をすれば百性なんか馬鹿らしく出て来るものか、洋服細になり行く、これが農村實情の姿であつた。現在もこうした状態は未だに存続して居る。

はたしてどうせうか。農村の民主化は日本民主化に先行する基礎である。相言葉のようになされて居る。農村民主化の手始めとして農村改革が行われ、封建的土地所有制度を除かれ、そして平和革命を経済的に裏づけなくては農業協同組合が生れた。吾が村においても組合が生れて一ヶ月たつた。農民の協同組織に依つて農村改革だけでは克服されない、詳細農村を親譲りの勞作原始技術を改革して農業近代化を成さねばと言ふ構圖が私共農民に與えられた。しかし運命は皮肉にも此の行手をささぎつて居るものが悪性インフレであり、何等一貫性の無い政策であつて、農業革命はこうした壁に突き當つて居るのである。この壁を打破するには先づ吾々農民の團結力、政治力、持つには農民自身が農村文化の水準を高めて、

事である。農村文化が低く停滞して居る限り日本民主化の途は遠い。もより農村民主化は一年や二年で實現されるわけはなく、忍耐力ある努力がつけ重ねられて新しい時代の成長をまたねば實を結ばない面が只々多く、古い頭腦の改善や切り替へでなしとげられる發展には自ら限界がある。改造車は改造車だけの能力を命しか持つていないのだ、そこで教育と言ふ事業のほかり知れない大きな意義がある。農村の再建や農業近代化も決して例外ではなく、日本の民主化もそうであり文化國家としての日本を成育する重大な根本は教育にある。この大きい視野からすれば農村である前に人間であるべき教育! このすぢ金をとおした總ての文化運動が必要である。今や我々の農村にはそうした根を深く張らなくてはならない。賢明な頭腦、忠實な心、人の爲に役立つ亦生活の向上に必要な健康、この四つのHをクラブの爲、部落の爲、國の爲に磨き鍛へる四Hクラブが米商農村にあることはすでに日本にも紹介されている。農村の男女青少年が農事、家事、社會生活から公民として生きる方について理想標準をもち、それに達しなければならぬといふ責任を持つ様に向はれて居る。その爲に技術知識を實踐に依つて身に付け、試験研究の價値を教えるのであつて、農家の収入を殖やし生活を高めるための改善を考へて計画し、分別する力、親切で同情心に

さみ誠實な人となす、技術をもつ腕、人々の病氣に打ちかつて仕事に力をあげる力が彼等に與へられる、その日、が明るい社會生活であり、牧畜の明かな農業經營であり、實地の科學的教養である仕組は私達にまつて深く教へられる處である。

吾が村公民館の運営方針はこうした点を念考して四五クラブの様な使命をもつて吾が村の生活に結びつけた文化を高めるべく運営されなければならぬ。生活を無視した文化はあり得ない、眞の農村文化は土の中からだ!

一時のヤミ繁榮に、浪費はき違えた放縱、早熟で不健康な悪を覺えた青少年が、外伊那の毎にも見つけられ、これこそ私達が住む農村に於てはかなしむべきこと。方向をはきちがえた、あやまつた民主主義を普及して居る教育の實例も今だある。文藝、映画、演劇、不健全な点多く公民館は例外視の懸念の感あり、これら一連の飢饉の投階にある吾が村の文化運動を刷新すべき機運のありあがることを待望し擧げる。(〇生)

分館對抗春季野球大會
再度優勝し今年も優勝を目標とした秋野チムチム隊が、優勝旗、美譽チムチムへ。

去る五月一日公民館体育部主催分館對抗野球大會は雨の中、開會、華々しい熱戦に熱戦を展開、夕暮と共に意欲ある大會の幕を閉じた。決果左の如し。

秋野對時又 上川對桐林
芙蓉對秋野 長原對上川
7-4 6-15

決勝戦
芙蓉對上川
9-4

竜丘村公民館 役員組織

昭和二十一年度 役員組織

一、顧問 (常任委員長) 前島 頼輔
二、顧問 (非常任委員長) 木下 忠吉
三、主事 會計主任 橋本 玄進
四、主事 會計主任 岡村 美文
五、書記 岡村 美文
六、青年委員 六名 北平 二名 婦人會 三名
七、青年委員 六名 北平 二名 婦人會 三名
八、青年委員 六名 北平 二名 婦人會 三名
九、青年委員 六名 北平 二名 婦人會 三名
十、青年委員 六名 北平 二名 婦人會 三名

部	部長	副部長	委員
情報部	岡村 信	下平 實	中島 美代、中島 美代、中島 美代
教養部	橋本 玄進	下平 實	中島 美代、中島 美代、中島 美代
圖書部	下平 實	中島 美代	中島 美代、中島 美代、中島 美代
産業部	小島 兵次	後藤 謙治	中島 美代、中島 美代、中島 美代
体育部	原 光人	小林 正徳	中島 美代、中島 美代、中島 美代
衛生部	北原 公祐	高島 南美子	中島 美代、中島 美代、中島 美代
藝能部	吉澤 俊	小林 實	中島 美代、中島 美代、中島 美代

竜丘村農事研究会 研究事業栽培設計

一、各班共通重点研究事業

○水稻栽培密度比較研究
株数六〇 一〇寸一六寸 二本植 三本植 四本植 五本植
七二 一〇寸一五寸 〃 〃 〃 〃
八〇 一〇寸一四寸 〃 〃 〃 〃
九〇 一〇寸一三寸 〃 〃 〃 〃

○供試品種 農二林十二号 二毛作田
〇面積 一區 二坪 十六區にて三十二坪
〇本田施肥基準(坪當) 堆肥一〇、硫酸二六、過石二三
〇苗代設計 普通水苗代 播種量坪當一合 所要苗代三坪
肥料 坪當硫酸六〇、過石四〇、草木灰二〇〇、
〇植付月日 六月三〇日

○大豆の播種期と移植期
〇直播區 品種 赤茨 一區二坪 品種坪當一合一勺
五月二〇日播 六月五日
〇移植區 品種 赤茨 一區二坪 品種坪當一合一勺
五月二〇日播 六月十日

〇大豆の播種期と移植期
〇直播區 品種 赤茨 一區二坪 品種坪當一合一勺
五月二〇日播 六月五日
〇移植區 品種 赤茨 一區二坪 品種坪當一合一勺
五月二〇日播 六月十日



混迷

幾度か書いては消し書いては消しというペンを投げ出した。窓外をぼんやりと眺めれば満開を過ぎた桜の花びらが苗代の水面に浮んでゐる。あ、春も終りか。彼の紙面にはこんな事が書かれてあつた。

現在青年會の低迷と不活潑が取沙汰されてゐる。弱体化と青年性の消失は確かである。この原因は何處にあるか？

先づ組織組織のつくりか、命題的弱点がある事は論を俟たないが、他面吾々を顧慮く社会

の現実が余りにも厳しく、徒らに保身に窮々としてゐて他を顧みない事象も少なくない。青年の進む道は千者万別であり之を統一し團結させるには如何に至難であり、そして大部分が青年會はひしが作つたもので自分たちは加盟してゐるに過ぎない。何をして、何をしなければならぬかが判らなく、確かに今迄進つたコースは直接吾々の生活に結びついていない事が多い、では一体どういふ方向に持つて行つたら日常生活の中に融け込んで行くか、そして急激に變りつゝある新しい環境に適応させ會そのものに魅力が出て来るか？

こゝで文は一寸きれてゐる

次に幹部の大半が現状の分析に之に適する青年運動の具体的方策について何一つ指導理念をもつてゐないし、且つ會員個々も無自覚であり知性の低きを露呈してゐる。そんなやうに書かれてゐるが、この部分には線を引いて消してあつた。

次ぎの所には――

幹部は會員と對外關係との板ばさみになつて困つてゐる、その實例の一つとして、公民館を盛りたて、行くのは青年が主体にならなければならぬ。いゝ頭ごなし言はれる。その説はもつともであるが青年會員の中には異論があり、彼はそれに對し自信をもつて納得の行く辨明が出来ない。社會は青年の現状や行動に對して批判するが、之を育てよう、援助しようとする人がない。現時代に生きる青年の眞の悩みを理解してくれる人が少い。

こゝで又ペンは中絶してゐた。

運営上の隘路のこゝ、對外關係のこゝ、青年會に飛び廻つてゐる家業の出来ない事等矛盾苦惱に満ちた彼は頭の毛をくしゃくしゃにして疊の上に横になり夢想してゐる。こんな事で瘦せる思ひをしてゐるより自分の身の廻りの事を考へて一粒でも多く米を取る事、一錢でも金になる事を考へた方が余程得であるかも知れない。

而し青年が青年のみの持つ特有の青年性を失つて一体どうなるか、心の一部では叫んでゐる。

現在青年會の混迷を救ふ道は單なる主觀的な理論でもなく又機構的改革のみでもない會を構成するお互が行動的思想に對して嚴正なる自己批判



お詫び

第二号の発行が予定より大變におくれまして編輯子の怠慢をお詫び致します。特に岡村氏には第一号に載せるべく御多忙の中を御無理を願つて書いていただきました。原稿勝手年編輯の都合に依り(二号は四月早々發行予定でありましたので)二号に廻しました。ついで今日迄編輯發行が、おれし爲に氏の御骨折を、誠に致しました事を紙面に、お詫びして。



後編

青年會の前途に待つものは決して沮たる道ではない。而し今吹き巻くつてゐるか、かゝの危機を混迷の嵐こそ強い樹を作るのであらうきつ。(Y生)